

# 西脇市立西脇病院

## 内科

### 指導担当医（役職）

来住 稔（副院長・内科主任部長）

### 実習概要

#### 実習コース

2週間コース・4週間コースどちらも可

#### 概要

当院では総合内科の臨床実習3の関連病院として一般内科の実習が可能です。臨床実習2よりより進んだ一般内科の高度専門性を学んでもらいます。「一般内科の高度専門性」とは何かと疑問に思われるかもしれませんが、例えば以下のようなものが該当します。これらは臓器別での物事の考え方では学べないものです。

1. 初診で来院された患者さんに適切な初期診断と初期対応

臓器別にとらわれず包括的に全人的に医療問題を考えることができる総合診療の高い専門性と考えられます。学生にも実体験型の外来実習や救急実習を指導医と共に行いディスカッションを行っています。

2. 一般的な健康問題に対する診療能力

地域の基幹病院である当院には臓器別ではなく頻度別の疾患を持った患者さんが来院されます。common diseaseを救急外来・入院症例で経験することで、common diseaseの治療の基礎を学びます。

3. 複数の健康問題を有する患者(Multimorbidity)に対する患者中心の診療

複数の健康問題を持つ患者さんの場合、全人的に問題を解決する場合には臓器別思考のみではうまくいきません。特に高齢者ではこのような複数の健康問題を持つ患者さんが多く、こういった

場合老年医学を基礎とした生物学的、心理学的、社会的問題までも考慮し何が目の前の患者さんにとって最善なのかを患者さんや家族と共に解決に導く医療を学びます。

#### 4. 連携重視のマネジメント

単一の疾患を持つ疾患が単純な患者の管理は、該当臓器別診療科が高度専門性を発揮することで良好な治療効果を得ることが可能です。しかしながら上記のような多問題を有する場合それぞれの医療問題のすり合わせが必要になります。この場合、各臓器別専門医と治療方針に関する相談を行い、また医師のみならずコメディカルなどの多職種で「最善は何か」を共に考える必要があります。このような医師やスタッフとの連携による患者の管理の基礎を学びます。

当院には内科の中に総合内科専門医の他に総合診療や老年病を専門とする医師が複数おり、上記のような診療の仕方やものの考え方が共通の文化として存在しています。医学をまず臓器別に学ぶのは大切なことですが、それらを踏まえた上でさらなる高みを目指した診療を学べます。そしてそれこそが「一般内科の高度専門性」と私は考えます。

#### 1週間のスケジュールの例

(個々の学生の希望に合わせて調節しています)

	7:50-8:30	8:30-12:00	13:00-17:00	17:00-18:00
月	入退院カンファ	病棟回診	消化器&呼吸器検査	消化器カンファ(任意)
火	ア & 抄読会	外来実習	消化器	外来カンファ(任意)
水	& 症例検討会	研修医カンファ	救急初期対応	研修医レクチャー(任意)
木	(参加任意)	外来実習	循環器検査	外来カンファ(任意)
金		病棟回診	救急初期対応	糖尿病カンファ(任意)

希望あれば当直医・副直医と共に当直実習(翌日は休暇となります)

## 学生へのメッセージ

上述の学習内容は、患者さんに寄り添った臨床医を行うのであれば何科に進んでも有用かもしれませんが、外来実習はPost-CC OSCEを意識した実習をしていますので直接的な有用性があるかもしれませんが、その他は直接の医師国家試験対策にはなりにくいかもしれません。しかしながら、座学ではあまり学べない患者さん個々の健康問題に直接対峙することこそが臨床実習の真髄とも考えられます。

また、これらのことを臨床医として今後やっていきたいという学生の皆さまがいらっしゃれば私達としては大歓迎です。